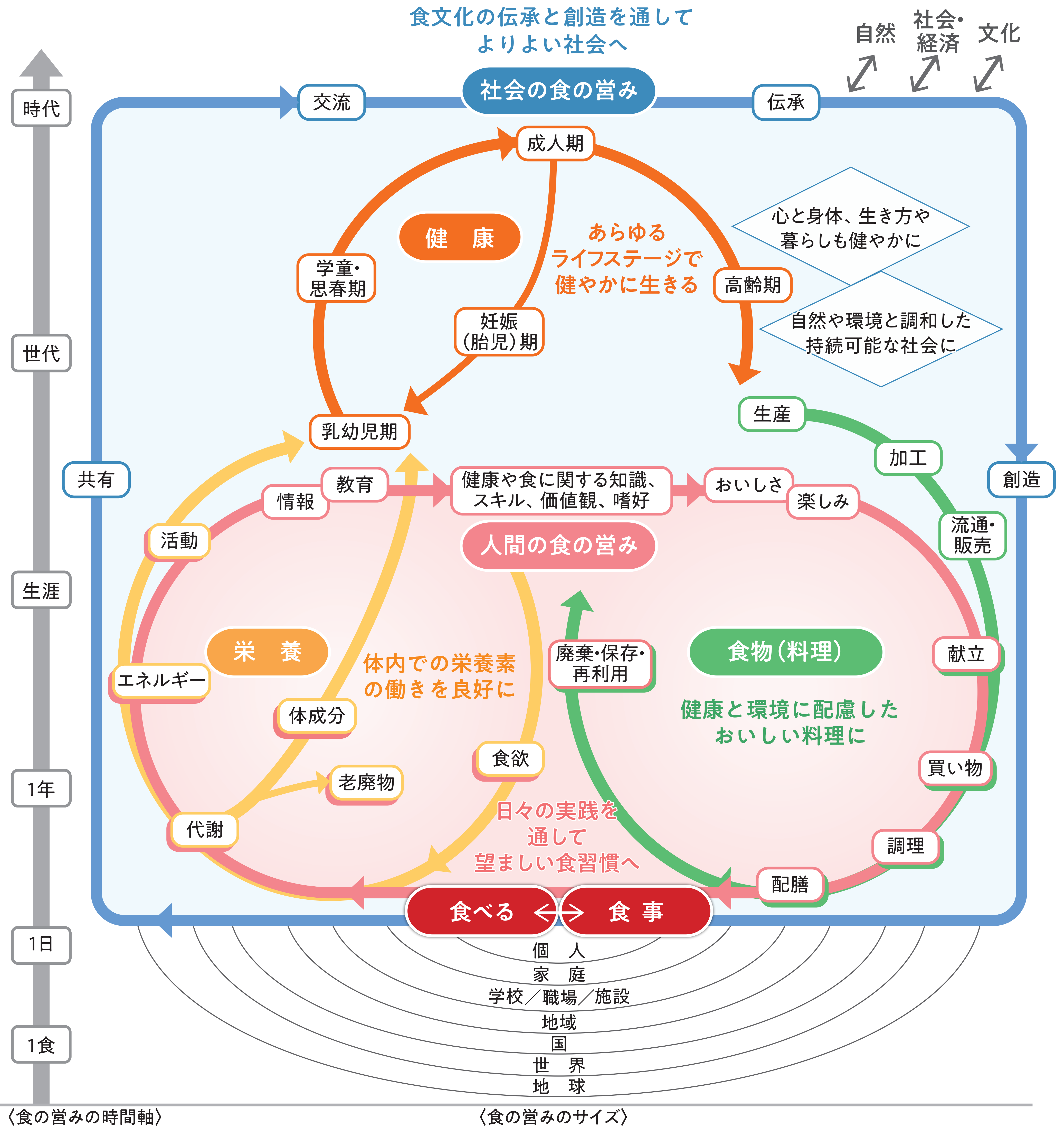


女子栄養大学が究める「栄養学」とは



〈食の営みの時間軸〉

〈食の営みのサイズ〉

女子栄養大学は、建学の精神「食により人間の健康の維持・改善を図る」のもと、「栄養学」の科学（理論）と実践を究めてきました。

女子栄養大学の「栄養学」の特色は、人々の「健康」のために、誰もがバランスのとれた食事を整え、おいしく食べることができるよう、「栄養」と「料理」に着目した実践方法の追求・開発と、そうした方法を駆使できる人材の育成を重視してきたことにあります。

食の営みは、1食、1日から、生涯、世代、そして時代へと、積み重ねられていきます。本学は、日々の食事の実践を通して、望ましい食習慣へと形作っていく「人間の食の営み」と、長い年月にわたる食文化の伝承と創造を通して、よりよい社会へと形作っていく「社会的食の営み」の両者に生かせるよう、栄養学を深化させてきました。

また、個人から家庭、学校・職場・施設、そして地域、国、世界、さらに地球へと、食の営みのサイズは様々です。本学は、人間、食物、社会・環境の多様性を尊重し、それぞれの営みのサイズに応じた科学的な実践アプローチの開発に向けて、これからも栄養学を深化させていきます。